

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		建設事業費（特別会計）[下水道総合地震対策事業]									
予算科目	款	2	事業費	項	2	建設事業費	目	1	建設事業費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	下水道 課 業務 係					課長名	廣瀬 裕				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 1	
【施策名】 市街地の整備									総合計画書(ページ)	83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	地震対策が必要な重要な下水管渠					地震対策が必要な重要な下水管渠延長					
	→										
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	地震対策実施率を100%に増加させる。					地震対策上重要な下水管渠における地震対策実施率(地震対策実施済みの重要な管渠延長/地震対策が必要な重要な管渠延長)					
	→										
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	国の社会資本整備総合交付金事業の平成27年度から平成31年度までの5か年計画として実施し、平成27年度に地震対策上重要な下水管渠の耐震化工事を行った。その後は、平成31年度まで下水管渠の経過を観察してきた。当事業は、平成31年度が計画完了期間である為、完了後の事後評価を「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシートにより実施する。					地震対策実施済みの重要な下水管渠延長					
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	m	83	83	83					
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0					
	目 標	②の目標値	%	100.0	100	100	100	100			
目標値設定の考え方 社会資本総合整備計画に基づき設定											
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円								
		特定財源	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	4,200	4,200	4,300					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	4,200	4,200	4,300						
4 環境変化等	(1) 開始年度		27 年度								
	(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な管渠の耐震化工事が完了したことにより、避難所や要援護者施設等の下水道機能や安全性が確保された。</li> <li>災害時には、避難所等のトイレが使用できるため、市民が安心して生活することができる。</li> </ul>								

